

平成13年度校内研修計画

1. 研究主題

主体的に学ぶ生徒を育てる支援のあり方
～教科及び「総合的な学習の時間」等における交流学习での実践を通して

2. 主題設定の理由

(1) 生徒の実態から

本校は、生徒1名という小規模校である。幼少の頃より年の近い友達はいたものの、小学校の頃からずっと学年に1名という状態で学習をしてきている。普段から多様な意見に触れる機会が少ないこともあって、創意工夫する力が乏しい。また、ディスカッションなどをする機会も少なく、自己表現力やコミュニケーション能力も十分についているとは言えない。

そこで、交流学习の機会を多く設定し、その相互啓発の作用によって、創意工夫する力を身につけさせながら主体的に学ぶ姿勢を育成したい。これは、本校の目指す生徒像「自ら学ぶ創造力豊かな生徒」や教育目標「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の具現化にもつながるものと考えられる。

(2) 教科及び「総合的な学習の時間」等の実態から

「総合的な学習の時間」のねらいは生徒の興味・関心などに基づく学習などを通じて、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることである。しかし、同時に実践的なスキルが身につけていなければ、主体的に学ぶ力は育成できない。

六島分校では、昨年度「郷土・六島」をテーマに総合的な学習の時間に取り組んだ。生徒はそれぞれの興味・関心に基づきテーマを設定し、学習を進めることができた。しかし、課題追究の場面やプレゼンテーションにおいて、その方法などについて十分な知識がないこともあり、戸惑う場面も見られた。

そこで、教科学習と総合学習の相乗効果により、学習を進めるためのスキルを身に付けさせながら、主体的に学ぶ生徒を育成していきたい。

(3) 交流学习の実態から

六島分校では昨年度、テレビ会議システムを使い、総合的な学習の時間の中間発表や最終発表を栃木県の西方中学校と行った。交流は発表会だけにとどまらず、クリスマス集会やお互いの卒業式や卒業の集いへの参加、そして、六島分校のホームページの掲示板を通しての交流にまで深まり、中には、個人的にメールのやり取りをしている生徒も出てきた。自分たちとは違った多様な意見に触れることができ、遠く離れた地域の生徒との交流学习に生徒は意欲的に取り組んだ。その一方、発表会での意見交換やディスカッションでは、生徒がディスカッションのスキルを身につけていないことなどもあり、なかなか十分に話し合いに参加できなかった。

そこで、学習を進めるためのスキルを育成すると同時に、効果的な交流学习のあり方について研究を進めていきたい。

3. 研究仮説

教科と「総合的な学習の時間」の相互作用で、学習を進めるためのスキルを育成すると同時に、交流学习の機会を数多く設定することにより、主体的に学ぶ力が養われるであろう。

4. 研究組織

全体研修会

研究推進のための原案を審議する。

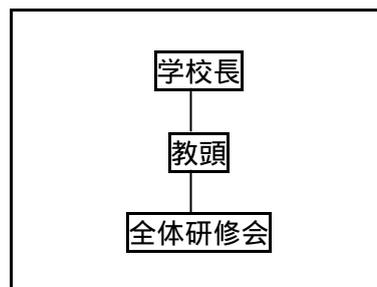
研究主題や研究仮説に基づいて、具体的な内容を計画し実践する。

(1) 交流学习の研究

- ・ 遠隔地の学校との地域間交流や世代間交流について研究する。
- ・ 本校との交流学习について研究する。
～ 郷民運動会・学習発表会への取り組みを通して

(2) 「総合的な学習の時間」の研究

- ・ 主体的に学習を進めるために必要な、実践スキルの育成について研究する



5. 研究計画

	学校行事	校内研修計画	
4月23日		研究の主題・計画提案	
5月8日		交流学习及び総合学習について 授業実践・研究推進 研究授業及び授業研究の実施	
5月22日	中間テスト		
6月5日	群中体連(球技)		
6月19日	水難防止訓練		
7月10日			
		1学期の反省	
9月4日	実力テスト	全体研修会 授業実践・研究推進 研究授業及び授業研究の実施	
9月18日			
10月9日			
10月23日			
11月6日	本校文化祭		
11月20日			
12月4日			
12月18日			
			2学期の反省
1月8日	始業式		全体研修 授業実践及び研究推進 研究授業及び授業研究の実施
1月22日	避難訓練		
2月5日	私立入試		
2月19日			
3月5日	公立入試		
3月19日		研修のまとめ	

- (1) 校内研修は原則として、毎月第 2 , 第 4 週の火曜日に開催。行事などの関係で、第 2 , 第 4 週に開催できない場合は、第 3 , 5 週に振り替える。
- (2) 総合的な学習の時間の推進委員会を毎月第 1 , 第 3 週の火曜日に設置し、総合的な学習の具体的なすすめ方については、基本的に、この推進委員会で行うものとするが、時間の関係で校内研修の時間や他の曜日に変更する場合もある。
- (3) できるだけ、研究授業を実施し、研究授業に全員が参加する。また、授業後には全員が参加する授業研究を実施する。